

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会広報誌・平成 26 年 1 月号



猿ヶ石川通信

Vol.5

| | |
|-----------------|----------------------------------|
| 第 1 面 トピックス | 田瀬ダム完成 60 周年記念プロジェクト第 2 回運営会議 |
| 第 2 面 ニュースファイル | 田瀬湖ウォーキング、遠野市緑化祭「里山フェスタ 2013」、他 |
| 第 3 面 インタビュー | 田瀬ダム完成 60 周年記念プロジェクト副会長：千葉孝造さん、他 |
| 第 4 面 インフォメーション | 水源地域セミナー、野鳥観察会、味噌づくり体験会、他 |

猿ヶ石川流域トピックス



グループ毎に交流を深めながら協議しました。

田瀬ダム完成 60 周年記念プロジェクト第 2 回運営会議

田瀬湖の施設・イベントを検証

施設・イベント・60 周年記念事業について 4 グループに分かれ熱心に意見を交わす

規約と役員が決まり プロジェクトも本格化

昨年 10 月に発足した「田瀬ダム完成 60 周年記念プロジェクト」。前回の施設見学に続き、2 回目の運営会議が、12 月 10 日(火)田瀬ダム管理支所会議室にて開催されました。

先ず最初に、このプロジェクトの規約と役員に

ついて協議。会長には、田瀬地域コミュニティ会議会長の菊池祐光氏、副会長には宮守町地域づくり連絡協議会会長の千葉孝造氏。また事務局長には、NPO 法人遠野エコネット代表の千葉和氏が決まりました。

規約も承認され、役員も決まったことで、60 周年記念プロジェクトの体制が整い、事業が本格的に進められることとなります。

アンケート結果が報告される

その後、プロジェクトメンバーを対象に行っていた、アンケート結果が報告されました。

前回、田瀬湖周辺施設を視察した感想については、「多様な施設が整っている

が、活用が不十分でもったいない」という声が多くありました。

また、田瀬湖周辺で行われているイベントについては、その行事の担当者からイベントの詳細について補足説明も行われました。アンケートでは、「参加者が少ない」ことや「開催時期をずらして欲しい」という意見がありました。

更に、60 周年記念事業についてのアンケートでは、「インターネット等を活用した情報発信」、「田瀬湖一周マラソン大会」、「田瀬湖畔の環境整備」、「お土産品の開発」等の実に多くの意見が寄せられました。

4 グループに分かれ協議を開始

アンケートの報告が終



各グループの発表がされました。

わると、4 つのグループに分かれ協議を開始。各地域から集まっている団体のため、先ずは相互の交流も含めての自己紹介。その後、田瀬湖周辺施設の「良い点」「悪い点」「要望」、田瀬湖周辺でのイベントについての「良い点」「悪い点」「要望」、また、60 周年記念事業の進め方についてポストイットに書き出し、用意された模造紙に貼りながら作業を進めました。最後には、それぞれのグループで協議された内容について発表が行われました。次回は、これらの中からプロジェクトとして重点的に取り組むものを絞り込み、事業を進めて行くこととなります。

尚、60 周年記念事業への意見を次ページに掲載しましたのでご覧下さい。

猿ヶ石川流域ニュースファイル

60 周年記念事業について 第 2 回運営会議 グループ討議で出された主な意見

- * 全体的な進め方
 - ・ 湖、施設を活用した継続できるイベント
 - ・ 自然を活かし、都会との交流
 - ・ 地元が無理せず楽しめる事業
 - ・ 若者がやる気を出せる地域づくり
- * PR、情報発信。
 - ・ 各地のケーブルテレビの交流
 - ・ テレビを活用(架空の怪獣「タセクン」発見)
 - ・ タセクンキャラクターグッズをつくる
 - ・ 田瀬湖が竜の形をしていることを、内外にもっとアピール
 - ・ 田瀬音頭をつくる(田瀬の四季を盛りこんだ曲)
- * 連携強化
 - ・ 7 月末の湖水まつり、柏木平まつりの合同化
 - ・ 地元の資源・施設をめぐるスタンプラリー
- * 環境保全・整備
 - ・ 湖畔の環境整備
 - ・ 記念植樹
 - ・ 流域の小学校全体での環境保全活動
 - ・ ダム子供自然体験
- * 食・特産品
 - ・ 川の魚、エビを増やし特産品化。お土産品の開発
 - ・ 食堂の充実。地元食材を活用した料理の提供
 - ・ 世界遺産登録を記念して「和食の祭典」
 - ・ 田瀬湖周辺の食材を使った料理コンクール
 - ・ 田瀬湖周辺の食探訪(農家レストラン、和洋中、こびる処など)
- * 体験ツアー、グリーンツーリズム
 - ・ 「田瀬湖ツアー」で 60 周年をアピール
 - ・ 田瀬湖、グリーンツーリズムを一つにした旅行商品づくり
 - ・ 湖畔の暮らし体験(民泊しながら農村暮らしをアピール)
 - ・ がっつりアウトドアキャンプ(インストラクター付き)
- * 交流イベント
 - ・ 還暦を迎える人を招き一緒に 60 歳をお祝いする
 - ・ 移転者との交流会。事業に移転者にも声をかけて参加してもらう
- * アウトドア系イベント(陸上)
 - ・ 田瀬湖一周マラソン、駅伝大会
 - ・ 田瀬湖周辺ウォーキング
 - ・ 田瀬湖一周ラリー
 - ・ ヘラブナ釣り大会
- * アウトドア系イベント(水上)
 - ・ ボートのまちを PR するため市民レガッタボート大会を行う
 - ・ 小中学生対象のカヌー競技
 - ・ シーカヤックマラソン
 - ・ 水上相撲大会
 - ・ 国体を見据えてボートのデモンストレーション
 - ・ 1、2 級船舶免許講習会
 - ・ 田瀬湖遊覧、クルーズ(職員のガイド付き)
- * 屋内のイベント
 - ・ 太鼓フェスティバル
 - ・ 遠野、花巻郷土芸能発表会
 - ・ ダムの映画上映と講演会、人とダムの歴史
- * その他
 - ・ 田瀬ダム地権者の声を残す
 - ・ 宿泊、入浴施設の整備
 - ・ 災害対策指導(地域、学校)



足取りも軽やかにゴールの釣り公園へ。

田瀬地区ウォーキング & 田瀬湖遊覧

11 月 4 日(月・祝)、田瀬
地域コミュニティ会議が
主催する「田瀬地区ウォー

キング」が開催され、田瀬
地区民等 9 名が参加しま
した。

集合場所である田瀬振
興センターからウォーキ
ングを出発。途中、地域
の方と出会い手を降りな
ら、また、木々の間から見
える田瀬湖を眺めながら、
ゴール地点の釣り公園を
目指し歩きました。

釣り公園からは、東和 B
& G 海洋センター職員が
操縦する船に乗り込み、秋
の田瀬湖を遊覧。辺りは
すっかり快晴となり、湖面
に映える紅葉の山々に見



田瀬湖の湖面から紅葉を楽しむ参加者。

とれた参加者からは、「十
和田湖より良いんじゃない
い？」との歓声も上がるほ
ど。田瀬湖の自然が織り成
す魅力を再認識していま
した。

遠野市緑化祭 里山フェスタ 2013

11 月 9 日(土)、遠野市
緑化祭「里山フェスタ
2013」が遠野市斎場
「永^と久^わの丘」周辺にて行わ



アジサイを植樹する参加者。

れ、遠野市内の森林愛護少
年団の児童親子や林業関
係者等約 200 名が参加
しました。
開会式にて森林愛護少
年団児童による「みどりの
誓い」が行われた後、作業
を開始。アジサイ等の苗木
を植樹するグループと、周
辺の林に入り、枝打ち作業
をするグループに分かれ
ました。

アジサイを植樹するの
は、斎場周辺の斜面。ベテ
ランが多いのか、急傾斜に
も関わらず、あつという間
に植樹が終わりまりました。一
方の枝打ちは、主に森林愛
護少年団の親子が中心。指
導員に教えられながら、ぎ
こちない手つきで枝打ち
に挑戦する子ども達に、お
母さんからの声援が林内
に響いていました。



枝打ち体験をする子ども達。

猿ヶ石川流域インタビュー



田瀬ダム完成 60 周年 記念プロジェクト副会長

千葉 孝造(ちば こうぞう)さん

昭和 21 年、江刺市(現・奥州市江刺区)岩谷堂に生まれる。岩谷堂農林高校卒業後、岩手県土木部の技術職に就く。その後、岩手県内を 13 回転勤。久慈市内にある県営滝ダム管理事務所長を最後に、平成 17 年 3 月に定年退職。昭和 55 年に宮守町下郷地区に新居を構える。平成 20 年より下郷地区自治会長、平成 22 年より宮守町地域づくり連絡協議会会長。この他、遠野市明るい選挙推進協議会宮守支部長等宮守町内の要職に就く。

若者は出て行けば戻ってこない

私は生まれ育ちが江刺で、昭和 55 年に宮守に家を建てたんですが、ほとんど週末だけ家にいるような状況でして、正直言って宮守のことはあんまり分かっていなかった。地域と関わるようになったのは、退職してからですね。

今の地域の問題は、やはり少子高齢化。毎年、住民が減っている。若者は出て行けば戻って来ない。独居老人や高齢者夫婦 2 人暮らしが増えています。

結局、働く場が無いというところでしょね。宮守町内の企業は 5、6 社しかないという状況。仕事場がないと、若い人たちは出て行く。まあ、これは宮守だけでなく、全国の中山間地域に共通した問題なんですよけどね。

こういう状況なので、自治会の会合を持ってても、参加率が悪いんです。下郷自治会は 155 世帯あるんですが、先日の新年会でもせいぜい 50 人しか集まら

ない。私が以前講師をして、防災講習会を行ったときは、本当に参加者が少なかったです。

SLを一つのきっかけにしたい

もう一つの問題は、釜石道が鱒沢まで開通して、無料なもんだから、国道の交通量が随分減った。商店の売り上げも激減したそうです。

それでも、4月にSLが走る予定になっているので、それが何か新たなことを始めるきっかけになればと思っているんです。「めがね橋」は「恋人の聖地」にも選ばれている場所なので、それもうまく活用しながら、地域の活性化に



昨年末に行われためがね橋のライトアップ。

つなげていきたいと考えています。

宮守の人たちに田瀬のPRを

田瀬ダムが完成して今年 60 年になるということですが、ダム建設当時は、宮守にも映画館やパチンコ店があるなど、景気が良かったそうです。現在は、近くにダムが

あっても、宮守の人がダムに来る機会がほとんどない。今年は 60 周年という節目の年でもありますから、田瀬湖の施設や観光イベントについて、ケーブルテレビや回覧などを使って、もっと宮守の人に PR すべきだと思います。

これを機会に、田瀬と宮守の人が交流を深め、お互いの地域活性化につなげていくよう願っています。

自然ウォッチング 猿ヶ石川の野鳥 File No. 5



キンクロハジロ(ガンカモ科 ♂ 全長約 44 cm)

冬鳥として渡来するカモで、猿ヶ石川では数は多くはないが、東和大橋や毘沙門橋の上流付近で何羽か毎年見られる。オスは名前のように、目が金色、体は黒と白のツートンカラーで飾り羽(冠羽)が目立つ。(写真提供:とうわ野鳥の会)

2/22

こだわりの味噌づくりにあなたも挑戦！
味噌づくり体験会

まだ雪に囲まれた北国の2月～3月は、農家にとっては味噌づくりの季節でもあります。地元産の大豆と米麹(こうじ)を使った、こだわりの味噌づくりをあなたも体験しませんか？会場は国の重要有形文化財に指定されている茅葺き屋根の古民家である「旧小原家」。一昔前の空間に戻っての味噌づくりは、とても貴重な体験です。地元のお母さん達による田舎料理の昼食後には、東和町の劇団「よぐまんづ」のお楽しみミニ公演もありますよ～。

【日時】 平成 26 年 2 月 22 日(土)午前 10 時～午後 3 時
【会場】 旧小原家住宅(花巻市東和町谷内) 【定員】 30 名
【参加費】 5,000円(できあがった味噌約 4 kg+昼食代含)
【持ち物】 汚れてもいい服装(エプロン等)、上着や厚めの靴下等の防寒着、筆記用具
【申し込み】 氏名・住所・連絡先を記名しファックスで申し込み下さい。ファックス0198-42-4073(東和町グリーンツーリズム運営協議会:藤本)



味噌づくりの合間には、囲炉裏での歓談も素敵な時間なのです。

Q

アオコの原因となる「富栄養化」って何ですか？

川豆辞典

A

「富栄養化」とは海水や川の水にふくまれる栄養分が自然の状態より増えすぎてしまうことです。洗剤や農薬、肥料などに含まれている窒素やリンは、植物やプランクトンの栄養になります。そのため、洗剤や農薬などを含む水が川や湖などにたくさん流れ込むと、「富栄養化」が起こってしまいます。「富栄養化」することで、自然界の絶妙なバランスが崩れてしまい、一部のプランクトンが急増してアオコが発生すると考えられています。

田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会通信 Vol.5
「猿ヶ石川通信」平成 26 年 1 月号
発行日：平成 26 年 1 月 21 日
発行：田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会
☎ 028-0123 花巻市東和町田瀬 39-1-3
☎ 0198-44-5211
編集：一般社団法人いわて流域ネットワーキング
問合せ：☎ & FAX 0198-64-2250 (千葉)
E-mail:pahaya@tonotv.com

なればと思います。(千葉)

2/20

田瀬湖周辺地域の活性化に向けて
水源地域セミナー
「グリーンツーリズムの今・未来」

田瀬ダム完成 60 周年記念プロジェクトでは、田瀬湖周辺地域の活性化策について協議されています。その中で、グリーンツーリズムを活用した体験型の観光・交流を進めてはという意見が出されています。そこで、ビジョン推進協議会の総会終了後に、グリーンツーリズムをテーマとしたセミナーを開催することになりました。

猿ヶ石川流域で活動している団体の事例発表の他、グリーンツーリズムの現状と未来についての講演もあります。どなたでも参加できますので、お気軽にご参加下さいませ。

【日時】 平成 26 年 2 月 20 日(木)午後 2 時 30 分～午後 4 時
【会場】 田瀬振興センター講義室(Tel.0198-44-5281)
【参加費】 無料 【持ち物】 筆記用具
【内容】 事例発表: NPO法人遠野山里暮らしネットワーク、東和町グリーンツーリズム運営協議会、北上川フィールドライフクラブ/講演:「グリーンツーリズムの今・未来」(講師: NPO法人遠野山里暮らしネットワーク会長 菊池新一氏)
【問い合わせ】 田瀬ダム水源地域ビジョン推進協議会事務局
☎&FAX 0198-64-2250(千葉)

2/16

寒い冬こそ、鳥を見る絶好の季節!!
野鳥観察会

3/15

2 月: 毘沙門堂周辺
3 月: 町井カブトムシドーム

- 2 月の観察会
【日時】 平成 26 年 2 月 16 日(日)午前 8 時 30 分～ 12 時
【集合】 東和コミュニティセンター
【観察場所】 毘沙門橋、毘沙門堂周辺
※東和町内屈指の探鳥地で、カモ類、ベニマシコ、ヤマセミを観察します。
- 3 月の観察会
【日時】 平成 26 年 3 月 15 日(日)午前 8 時 30 分～ 12 時
【集合】 東和コミュニティセンター
【観察場所】 町井カブトムシドーム
※鮮やかなイチョウ羽を持ったオシドリやカモ、多くの小鳥に出会えます。
- 2 月、3 月観察会共に
【参加費】 100 円(傷害保険料として)
【持ち物】 防寒着、長靴、双眼鏡(ある方)
* 小学生以下は保護者同伴を条件とします。
【申し込み】 とうわ野鳥の会 ☎&FAX 0198-42-4725(齋藤)

編集後記

明けましておめでとうございませう。田瀬ダムが完成して 60 年という節目の年を迎えました。完成した当時 10 才の子供が、現在 70 才。ダム湖ができる以前の様子について、確かな記憶を持つ人も随分少なくなっているのではないのでしょうか。

60 周年記念事業では、ダム湖完成に伴い移転した方との交流会や、ダム工事を題材とした映画の上映、写真展なども検討されています。この機会に、多くの方々